



# 子どもたちの確かな学力の育成のために【教職員版】

令和6年10月 栃木市教育委員会

4月に行われた、令和6年度『全国学力・学習状況調査』及び『とちぎっ子学習状況調査』の結果は、全教科、全国平均・県平均と同程度でした。

栃木市教育委員会では、本調査の結果をもとに、授業改善・学業指導・家庭学習の点から、学力向上のポイントを作成いたしました。日々の学習指導にご活用ください。

## 学力・学習状況調査の各教科の結果から

### 小学校(4・5・6年)

◎よくできたこと    ▽課題が見られたこと

国語	◎表現を工夫して自分の考えが伝わるように書くこと ▽文章や資料から読み取った内容をふまえて、自分の意見を述べること
算数	◎図形の性質や小数のしくみについて理解すること ▽場面や数量の関係を捉え、示された考えをもとに、言葉や数を用いて説明すること
理科	◎身近な自然現象に関する基本的な知識を身に付けること ▽観察・実験の結果をまとめた図や表を活用して判断したり、推測したりすること

★小4・5はとちぎっ子学習状況調査(国語・算数・理科実施)、小6は全国学力・学習状況調査(国語・算数実施)

### 中学校(2・3年)

◎よくできたこと    ▽課題が見られたこと

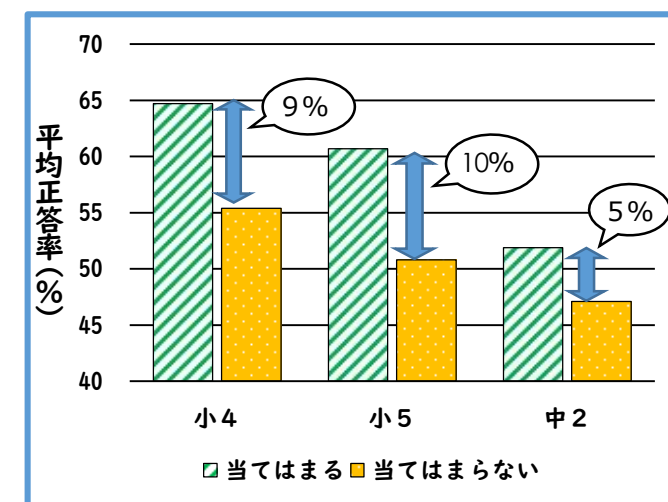
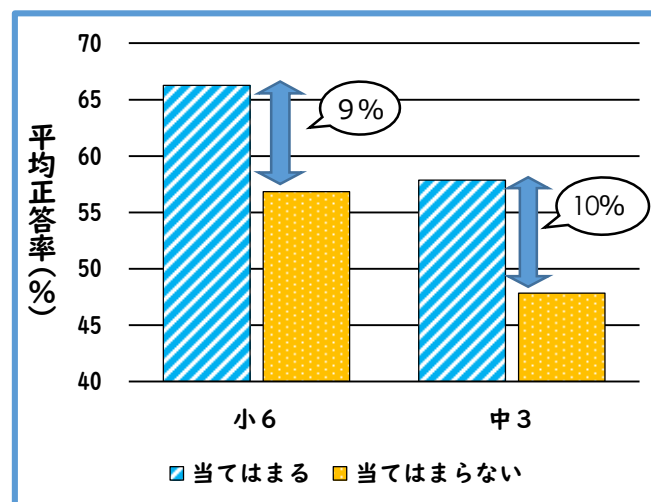
国語	◎話題に沿って資料や他者の意見をふまえながら話し合うこと ▽文章の構成や文と資料とのつながりなど、情報の関係性を理解すること
社会	◎社会的事象についての基礎的な内容を理解すること ▽複数の資料を関連付けて考察し、文章で説明すること
数学	◎基本的な四則計算をすること ▽場面や数量の関係を捉え、事柄が成り立つ理由について、筋道を立て、根拠をもとに説明すること
理科	◎身近な自然現象に関する基礎的な知識・技能を身に付けること ▽身に付けた知識と、自然現象の様子を示した表やグラフ、イメージ図等とを関連付けて考えること
英語	◎文にするために単語を適切な形に変化させたり、正しい語順に並べ替えたりすること ▽与えられた情報に基づいて、自分なりの言葉でまとめたり、自分の考えを書いたりすること

★中2はとちぎっ子学習状況調査(5教科実施)、中3は全国学力・学習状況調査(国語・数学実施)

## \*学業指導\* 学級を「学びに向かう集団」に！

学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている

クラスは発言しやすい雰囲気である



自分の学級を自治的で、風通しのよい学級であると感じている児童生徒は、平均正答率が高い傾向がみられます。

学業指導教職員用リーフレット  
(栃木県教育委員会)



学級経営の参考や確認に  
チェックシートも活用できます。

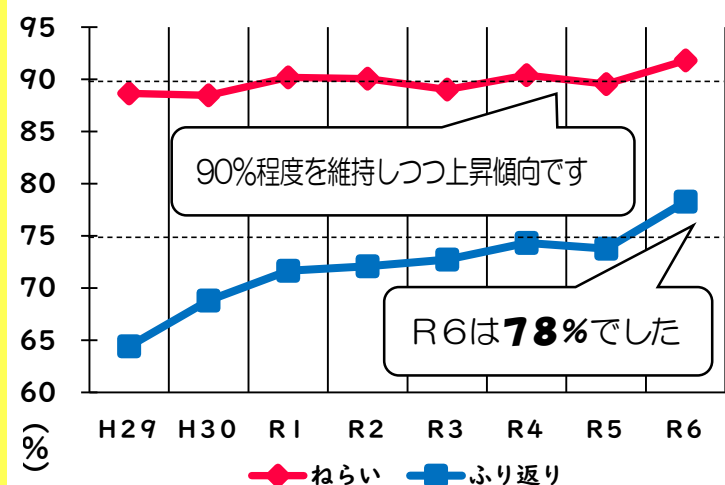
[https://www.tochigiedu.ed.jp/center/cyosa/leaflet/kateigakusyu/h20/gakugyoshido\\_kyo\\_syokuin.pdf](https://www.tochigiedu.ed.jp/center/cyosa/leaflet/kateigakusyu/h20/gakugyoshido_kyo_syokuin.pdf)

学力・学習状況調査の結果をもとにした過去の授業づくりリーフレットは、下の二次元コードやURLからアクセスできますのでご活用ください。

<https://tm2.tcn.ed.jp/kyouken> 教育資料



ねらいの提示と振り返りの実施の肯定的回答の推移(小4・小5・中2平均)



## ★導入で課題意識をもたせるために★

○子どもの疑問や発見を生かそう

○日常生活との関連を探そう

⇒身近な事柄やニュースなどに注目！

## \*授業改善に向けて\*

単元や題材を通して何を学ぶのか、どのように学ぶのかを意識して、授業づくりをしましょう！



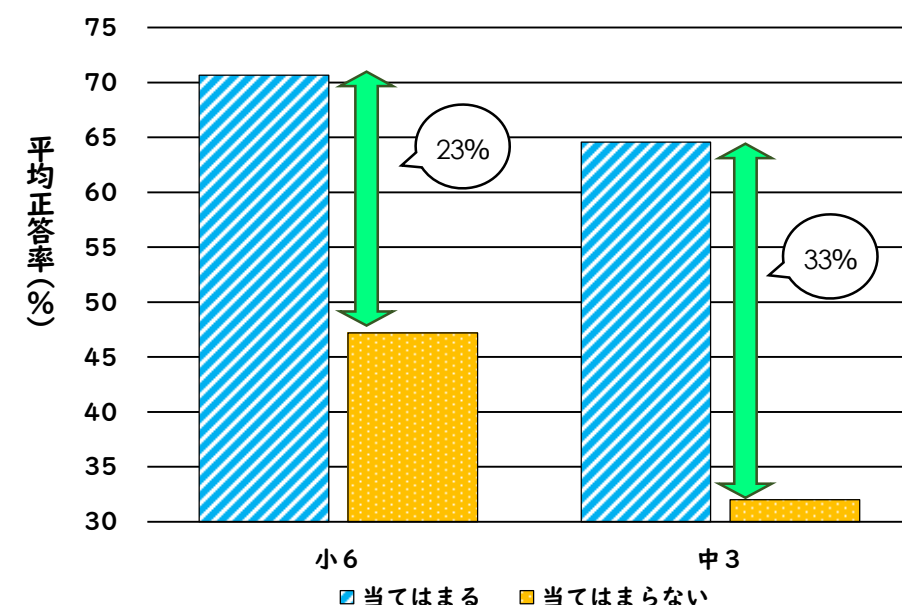
## ★情報活用能力の育成に向けて★

○学習した知識や技能を使う活動を設定しよう

○情報の整理や分類を通して考える活動を設定しよう

⇒情報活用は ICT のみにあらず！

これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

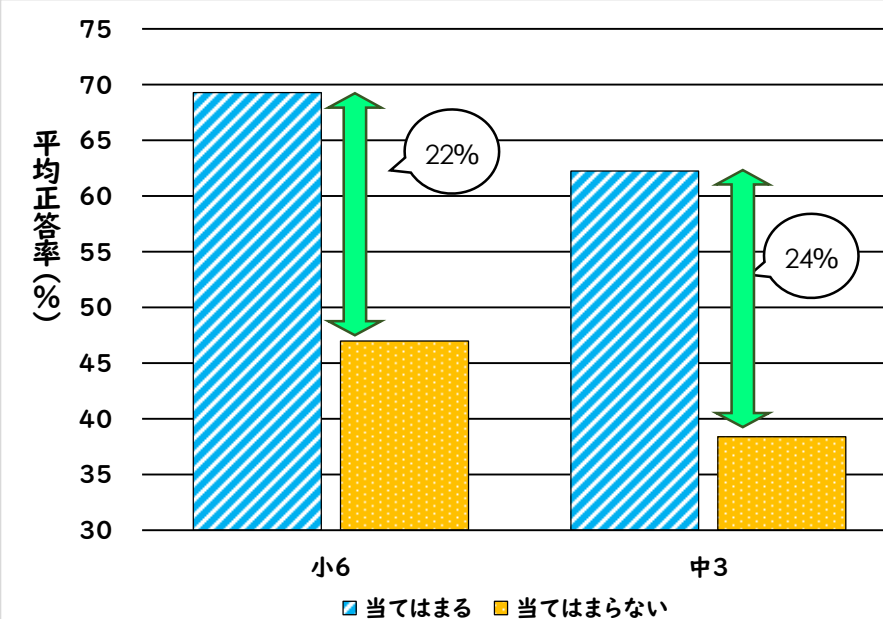


## ★問題解決的な取組に向けて★

○単元や題材を通して何を学ぶのかを明確にしよう

○単元や題材の目標に合った学習活動を設定しよう

これまでに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしなが、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

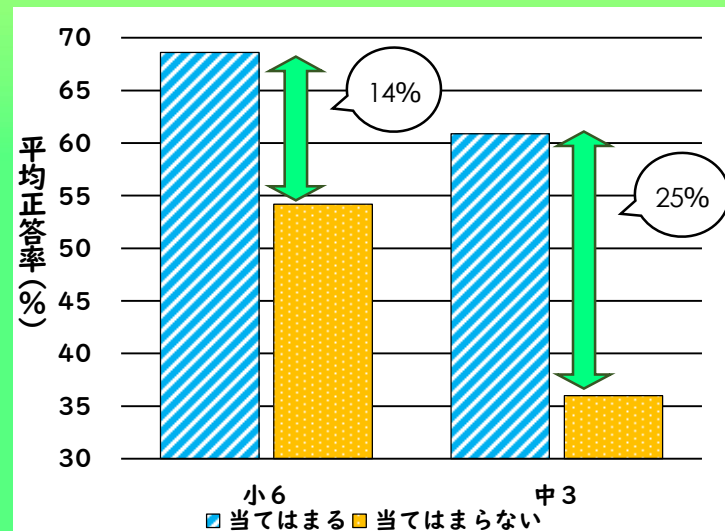


## ★振り返りを活用する★

○学習の内容や活動に合わせた振り返りを設定しよう

○子どもの新たな疑問や気づきを次の学習へつなげよう

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



授業づくりの視点としてぜひ活用を！

◀「とち介の学び」

<https://tm2.tcn.ed.jp/kyouken> 教育資料

グラフの見方：児童生徒質問紙の4段階回答のうち「1 当てはまる」「4 当てはまらない」と回答した児童生徒の平均正答率を示しています。